



須藤 典夫 議員

成功の鍵は 地域との連携

須藤典夫議員 旧朴山分校、中田小学校の活用の行方はどうなるのか。

ただ、可能な限り社会教育関係事業の会場として活用するなど努めているが、期待しているほどの利用には繋がっていないのも事実なので、引き続き適正

教育長 現在旧朴山分校は「教育文化資料館」として活用されている。東北芸術工科大学の協力で保存ファイルのデジタル処理もでき、資料の利活用も高まっている。
また、「鈴木文庫」「宇佐美文庫」の貴重な蔵書の寄贈もあり、資料館の魅力向上にも大いに貢献していただいている。



西郷主催 フリーマーケット

須藤議員 旧中田小学校の活用はどうなったか。
教育長 中田地域の若者グループが主体とな

活用イメージではスポーツイベントエリア、レンタルエリア、交流エリア、宿泊エリア、管理エリアの5つのエリアからなる施設利活用と地域交流の活性化、交流人口の増加、定住人口の増加、雇用の確保という期待と効果が含まれている。
運営については「NPO法人なかだ倶楽

町には凄い人がいるよ！
須藤議員 仮称「凄い」で賞」を創設して、町

副町長 同様の制度を承知していただきた勉強させていただきたい。
私としても積極的に取り組みたい。

廃校活用で地域に活力を

回答 地域創生事業で支援

な管理運営に努めていきたい。
地域との関係では「フリーマーケット」の会場として利用されており、地域創生の事例として協力していきたい。

つて利活用を図る（仮称）なかだドミトリーハウス」という地域力を取り戻すことを目的とした地域拠点づくりの提案を支持することにしました。



生まれ変わる旧中田小

民の隠れた努力者を表彰する考えはないか。高齢者は、長い人生を歩んできている。その中で、コツコツ続けている趣味や収集、人がびっくりするような特技を持っている方も多いと思う。
自薦、他薦で募り、広く町民に紹介する事業の創設はどうか。

町長 町を明るくする事業になると思うので、異論はない。少し調べる時間を経て、取り組みたい。

地方創生戦略への 今後の対応は

回答 仕事・人の流れ・育児環境づくりを基本に

戦略への 町長の評価は

沼澤道也議員 戦後70年かけてつくられてきた現在の社会システムが、急に変化することは難しいことと思えるが、本政策に対する町長の評価を伺いたい。

町長 人口の一極集中や地方の減少などは30年以上前から指摘されてきたことで、地方創生とは少し遅すぎたのではないかと思っている。3月2日成立した「総合戦略」での交付金を含む補正予算を有効に活用し、町の課題解決に向けて知恵を

町総合戦略策定の スケジュールは

沼澤議員 交付金の出方は全国的で、地方とはどんな定義をしているものなのか疑問に思うところだが、今後の町でのスケジュールはどうなっているのか。

町長 補正での国関係交付金は、地域消費喚起・生活支援と地方創生先行型の2つになっており、4月予定のプレミアム30%商品券の発行などを予算計上している。戦略策定では、地方人口ビジョンと今後5年間の「地方版総合戦略」を今秋まで策定し、人の減少緩和策

戦略の基本は 何に置くのか

沼澤議員 短期間での策定は大変になると思うが、町民の期待も大きいのでしっかりとしたものにして欲しいし、基本とすべきは何か。

町長 国の基本は仕事



春の学校 開校式（四季の学校・谷口）

づくり・新しい人の流れづくり・育児しやすい環境づくり、そして小さな拠点づくりの4つである。これらを基に、我が町の人口特性を分析し、実状に合った目標にして、金山らしい計画づくりに取り組み、人口減少問題を進めてまいる考えである。



沼澤 道也 議員



プレミアム商品券発売（4月19日）